

# 大津市 チョウ調査結果

「身近な環境市民調査」は調査員として登録された市民の方が、調査対象の生物を調査・報告いただくものです。令和7年度はチョウを調査対象として、203名の調査員の皆様にご協力いただき、延べ4,880件の報告がありました！

## 種類ごとの発見数

### セセリチョウ科 2%

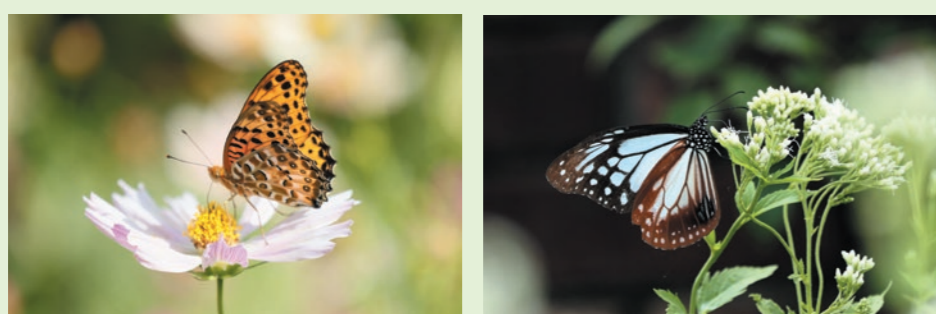
小型で、茶色系の地味な色の種が多いため、蛾の様にみえることも。発見数は多くありませんでしたが、市街地から山林まで広い地域で確認されました。



▲チャバネセセリ ▲イチモンジセセリ

### タテハチョウ科 16%

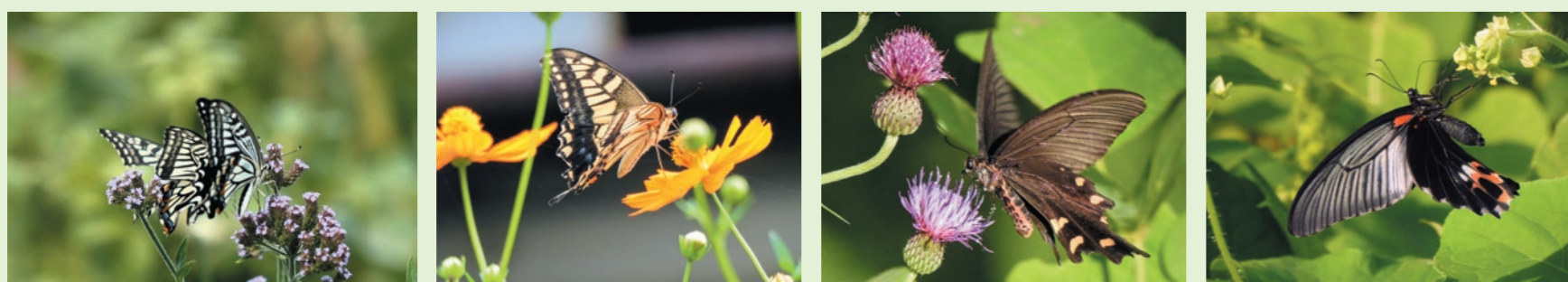
タテハチョウ科の分類については議論がありますが、本紙では、ジャノメチョウ、テングチョウ、マダラチョウなどを含み、大きさ、形、模様も様々な科となっています。



▲ツマグロヒョウモン ▲アサギマダラ

### アゲハチョウ科 18%

大型で、後ろばねに長い尾状突起をもつ種が多い。アゲハチョウは漢字で「揚羽蝶」と表記されますが、美しい模様を鳳凰（ほうおう）に例えて「鳳蝶」と記されることも。



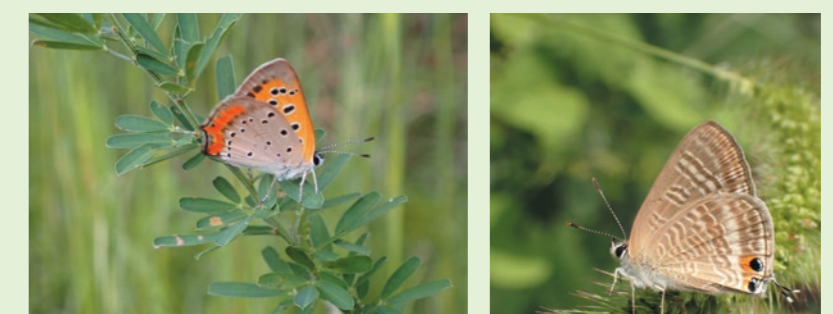
▲アゲハ ▲キアゲハ ▲ジャコウアゲハ ▲ナガサキアゲハ

不明 1%

### シジミチョウ科 38%

写真：調査員提供

シジミ貝のように小型で、はねの表側のみ鮮やかな色をもつ種も多い。市街地でも多く発見され、全体発見数の約4割を占めました。



▲ベニシジミ

▲ウラナミシジミ



▲ヤマトシジミ

### シロチョウ科 25%

「シロチョウ」とありますが、白色のほかに黄色の種が多い。

幼虫は毛虫ではなく「アオムシ」である種が多く、エサとなる野菜がある畑で成虫も多く確認されました。



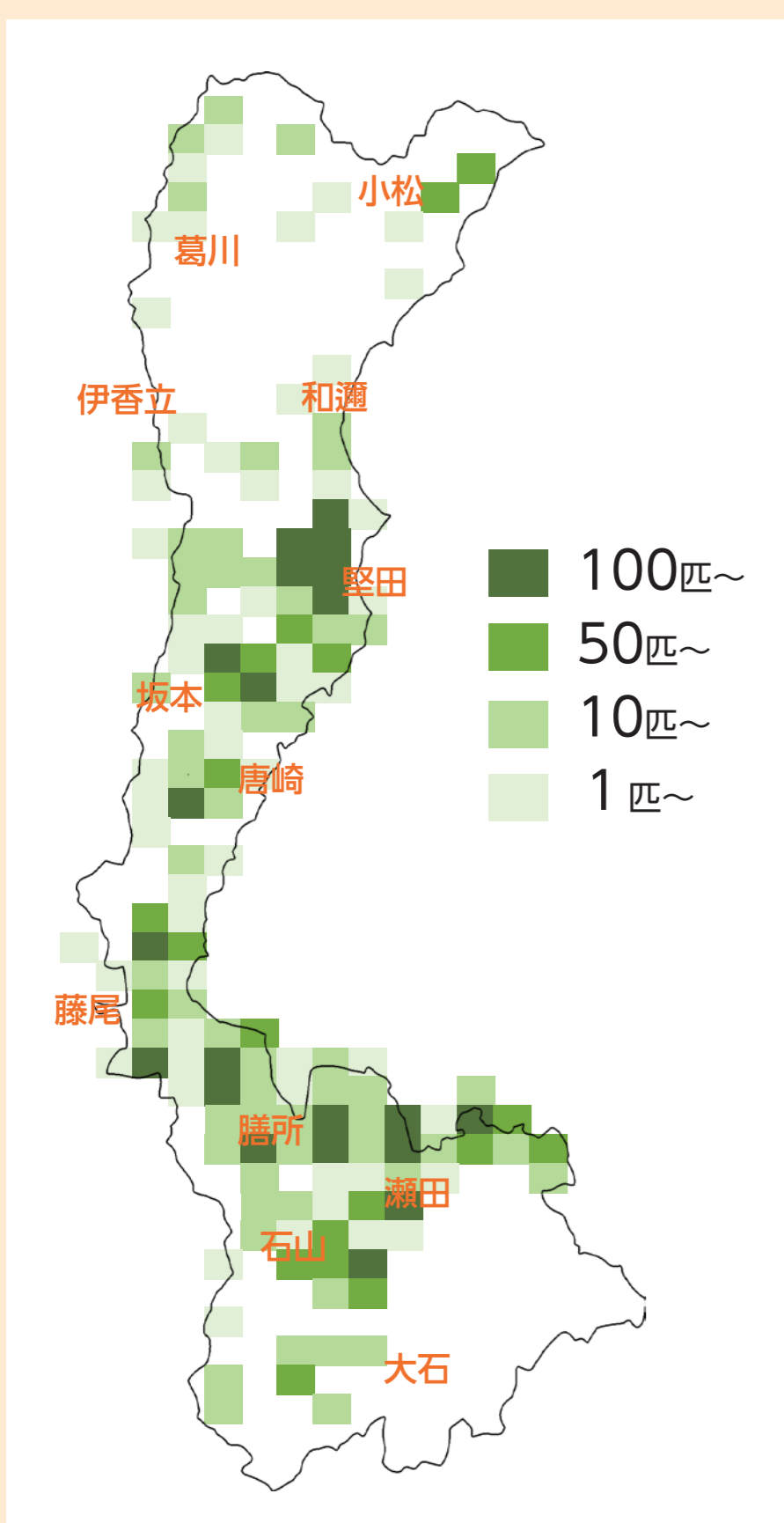
▲モンキチョウ

▲モンシロチョウ

幼虫・さなぎを含む  
**11,919匹\***

\*正確な数が不明である報告については概算しています。「多数」など数が把握できない報告は数に含めておりません。

## 大津市 チョウ分布図

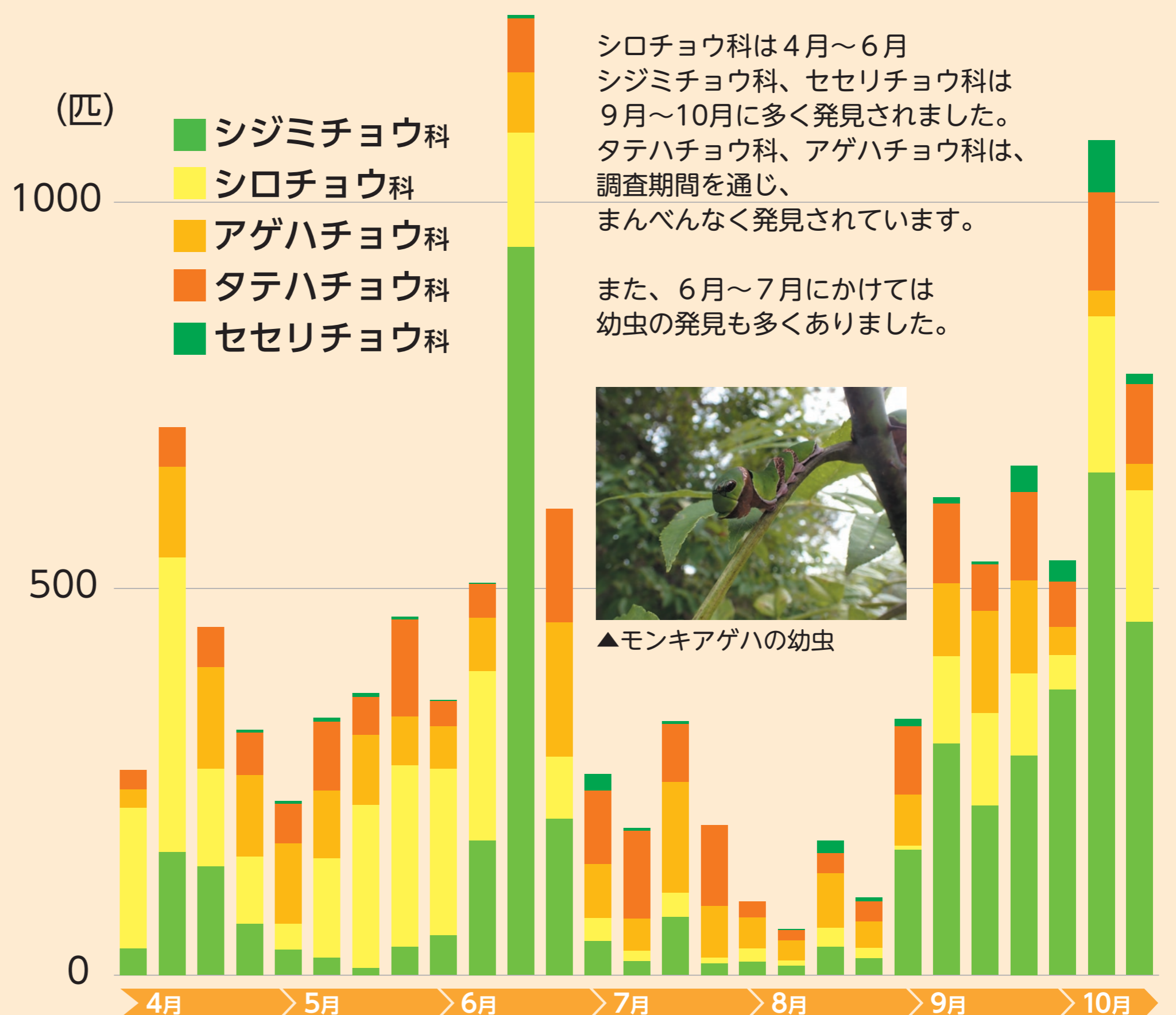


各メッシュで何匹発見されたかを示しています。自宅の庭や花壇などでの発見を中心に、市街地、住宅地から多くの発見報告をいただきました。



▲ホシミスジ (花壇で撮影)

## 発見時期 (週別)



シロチョウ科は4月～6月  
シジミチョウ科、セセリチョウ科は  
9月～10月に多く発見されました。  
タテハチョウ科、アゲハチョウ科は、  
調査期間を通じ、  
まんべんなく発見されています。

また、6月～7月にかけては  
幼虫の発見も多くありました。



▲モンキアゲハの幼虫